

フランスガス協会および日本ガス協会によるガス体エネルギーの
脱炭素に向けたトランジションにおける協力に関する覚書の締結について

2023年5月29日
一般社団法人 日本ガス協会

日本ガス協会は、フランスガス協会（France gaz）との間で、ガス体エネルギーの脱炭素に向けたトランジションにおける協力に関する覚書（Memorandum of Understanding、以下MOU）を締結いたしました。

両協会は、2050年ネットゼロを目指して、利用しても大気中のCO₂を増やさないe-methane※1およびバイオガスなど、低・脱炭素メタンの社会実装と普及拡大に向けた取り組みを協力して進めています。今回のMOU締結を通じ、CO₂の国際的なカウンtrルールの整備や製造・供給技術の確立など、制度や技術に関する課題を共有し、協力して取り組んでいくことで、都市ガス供給事業のカーボンニュートラルを実現し、2050年のネットゼロ目標に貢献してまいります。

※1 グリーン水素等の非化石エネルギー源を原料として製造された合成メタン。

主な情報交換および協力分野は以下となります。

1. 2050年におけるカーボンニュートラルの目標を達成するためのビジョン
2. 低・脱炭素メタンの活用におけるCO₂削減効果を透明性高く算出するための方法論（規制や規範となりえるものを含む）
3. エネルギー転換技術

MOU締結式は2023年5月29日（月）午前11時15分から日本ガス協会ビル7階の702会議室で執り行なわれ、日本ガス協会の本荘武宏会長、フランスガス協会のジャン・マルクルワ会長が署名し、MOUを取り交わしました。

以上

（参考）フランスガス協会の概要

France gaz（旧 Association Française du Gaz / AFG）は1874年に設立された、天然ガス、再生可能低炭素ガス、液化ガス、水素などのフランスのガス産業のための業界団体。フランスにおけるガスおよび液化ガス産業の発展を促進し、ガス業界がエネルギートランジションを達成できるように、業界内で共同作業とディスカッションを通じて、ガス業界にとって関心のある問題に光を当て、ガス業界の研究を奨励している。

担当：広報室
TEL：03-3502-0112



日本ガス協会会長 本荘 武宏

フランスガス協会会長 Jean-Marc Leroy